

ワンホール シングルレバー混合栓

【台付タイプ】 施工説明書

施工前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
この施工説明書は、別紙「安全上のご注意」と合わせて使用してください。

このたびは、シングルレバー混合栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

施工の前に…

- 別紙「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 取付後の点検のために必ず止水栓を設けてください。

施工時について…

- 別紙「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

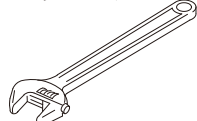
製品同梱明細について…

- 別紙「取扱説明書」の製品同梱明細を参照のうえ、部材を確認してください。

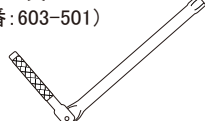
施工に必要な工具

* 品名の下に品番のある工具は弊社の製品です。

●モンキーレンチ

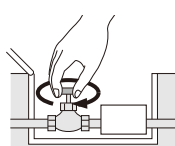


●しめつけ工具
(弊社品番:603-501)

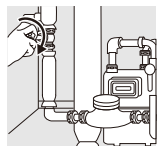


取付けの前に

* 数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を閉めて取付作業を行ってください。



戸建住宅など



マンションなど



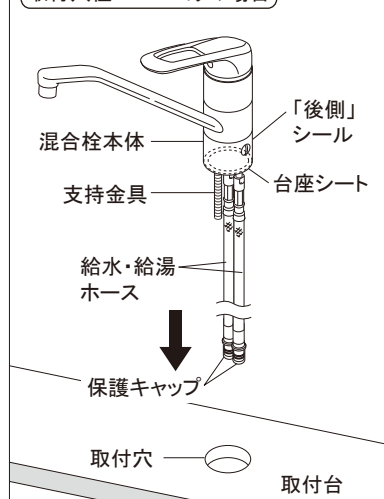
ステンレスカウンターで補強板がない場合は固めの補強板(合板など)を取付けてください。

必ず実行

取付方法

1. 混合栓本体を取付けます。

取付穴径30～36ミリの場合



① 混合栓本体を設置する場所の取付穴の直径を定規などで確認し、穴周囲の汚れを取ります。

* 給水・給湯ホースの先端の保護キャップは、取付けたまま作業してください。

② 台座シートが付いた状態で、混合栓本体を取付台の取付穴に差込みます。

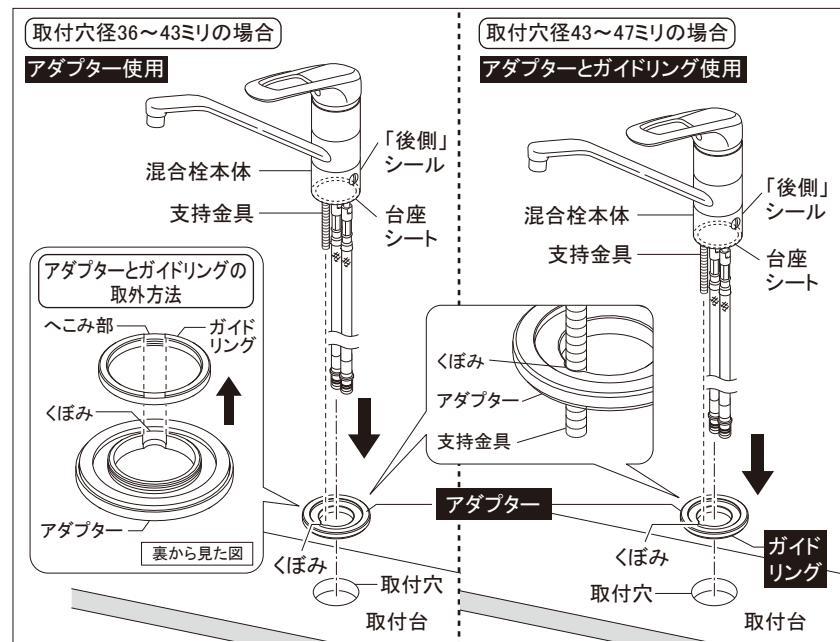
* 取付穴径によって、アダプター、ガイドリングを使用してください。

* 取付穴径が36～43ミリの場合は、アダプターよりガイドリングを取外してください。右上図のように、アダプターのくぼみにガイドリングのへこみ部を重ねると、簡単に取外することができます。

* アダプターを使用する際は右上図を参考に、アダプターのくぼみに支持金具がはまるように取付けてください。

取付方法(つづき)

1. 混合栓本体を取付けます。(つづき)



③ 支持金具に締付金具パーツ(固定金具、ワッシャ、締付金具)を下図を参考に通します。

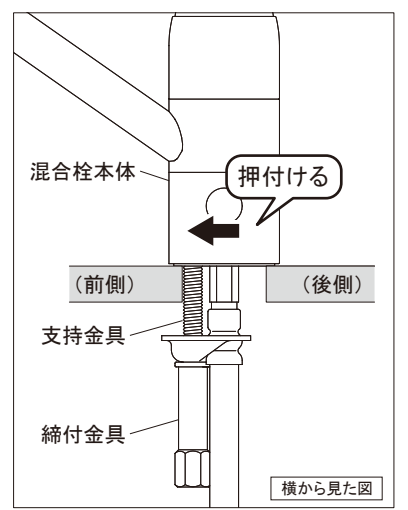
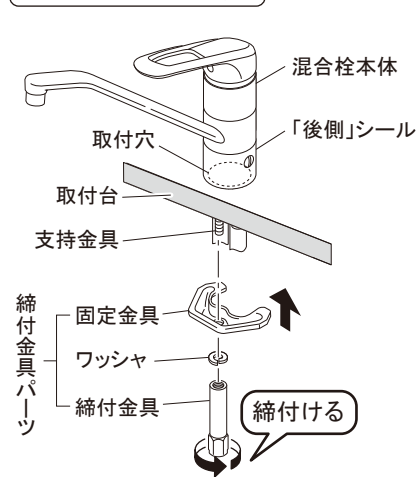
④ 締付金具を仮締めし、取付位置を調整してから「しめつけ工具」などでしっかり締め付け、混合栓本体を確実に固定します。

* 締付金具は下図のように、支持金具側(前側)へ混合栓本体を押し付けながらしっかりと締め付けてください。アダプターを使用する際は、支持金具をアダプターのくぼみにはめた状態で支持金具側(前側)に押し付け、しっかりと締め付けてください。

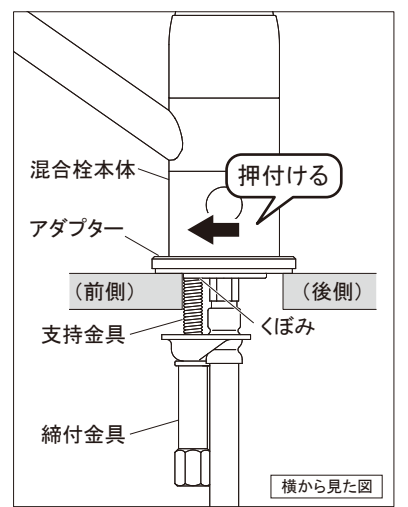
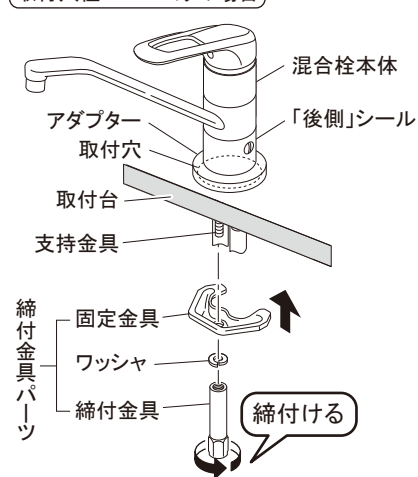
* 「後側」シールは真後ろに合わせます。

* 水栓取付位置がシンク、または洗面器中央でない場合は、スパウト位置、回転角度にあわせ位置決めをしてください。

取付穴径30～36ミリの場合



取付穴径36～47ミリの場合

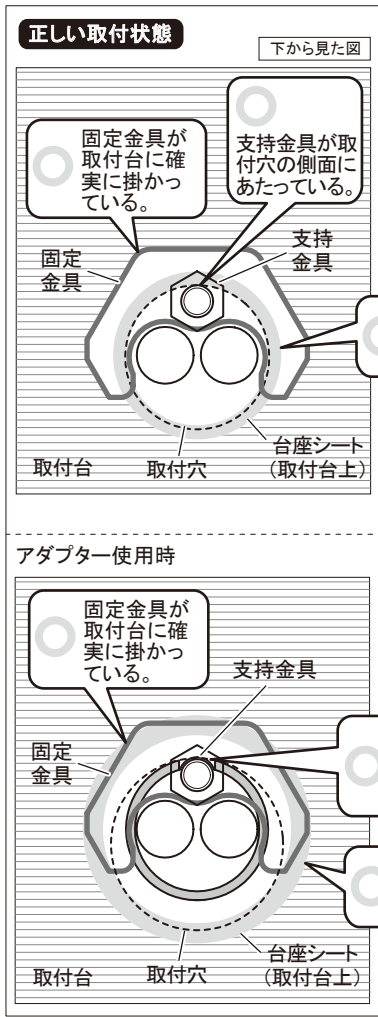


必ず実行

- 締付金具パーツは組付ける順序を間違えないよう取付けてください。
- 締付金具を締め付ける際は、適切な工具を使用してください。締め付ける際に、工具が給水・給湯ホースを損傷し、漏水の原因になる場合があります。
- 締付金具は、締め付け過ぎないでください。固定金具が変形するまで締め付けると固定力がなくなります。
- 混合栓本体を固定する際に、レバーハンドルを持って締め付けを行わないでください。カートリッジに無理な力がかかり破損する恐れがあります。
- 水栓本体を固定した後に、位置調整を行わないでください。無理な力がかかり器具の破損やゆるみの原因になります。

取付方法(つづき)

1.混合栓本体を取付けます。(つづき)



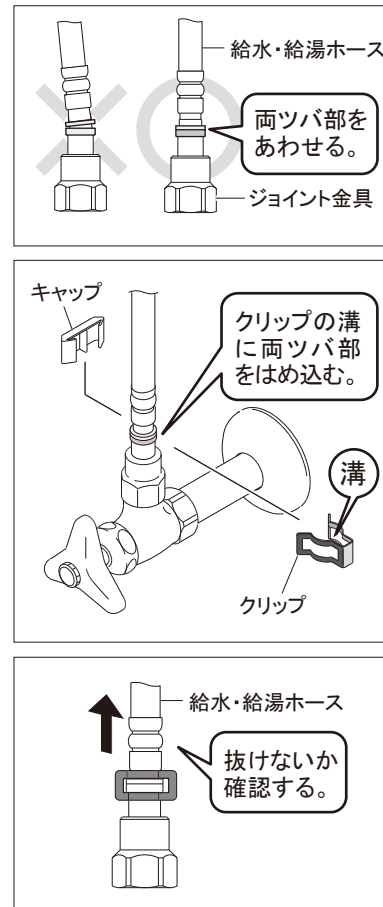
- ⑤左図を参照に、取付状態を確認します。
- * 台座シートが取付台に全周接するように取付いているか。
 - * 固定金具が確実に取付台に掛かるように取付いているか。
 - * 支持金具が取付穴の側面にあっているか。
 - * 支持金具がアダプターのくぼみにはまっているか。(アダプター使用時のみ)

注意

- 混合栓本体が正しく固定されないと、グラつき、取付台下へ漏水、部品の損傷の原因になりますので注意してください。
- 台座シートが取付台に接していない箇所があると、取付台下に水が浸入してグラつき、漏水の原因になりますので注意してください。

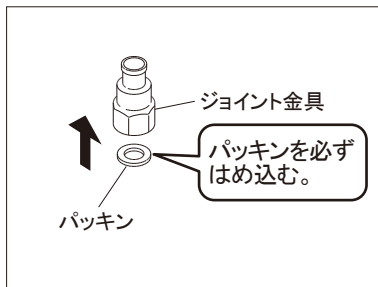
取付方法(つづき)

2.給水・給湯ホースを取付けます。(つづき)

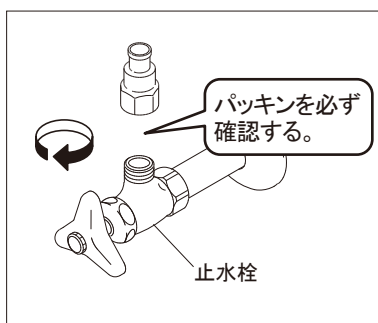


- ⑤給水・給湯ホースがジョイント金具に正しく差込まれているか確認をします。
- ⑥クリップの溝に、両ツバ部(給水・給湯ホース側とジョイント金具側)が収まるようにクリップをはめ込みます。
- ⑦キャップをクリップに取付けます。
- 必ず実行** クリップで手を切る恐れがありますので、固定後は必ずキャップを取付けた状態にしてください。
- ⑧給水・給湯ホースを上へ引き、確実に接続されているか確認をします。
- 注意** 確実に取付けないと漏水する恐れがありますので注意してください。

2.給水・給湯ホースを取付けます。

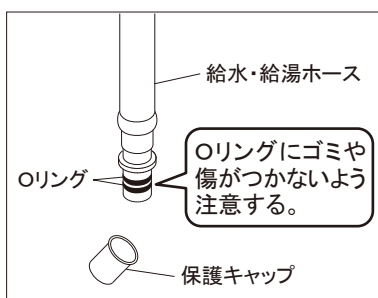


- ①ジョイント金具にパッキンをはめ込みます。

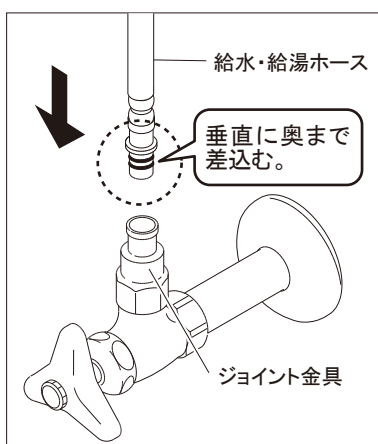


- ②ジョイント金具にパッキンが付いているのを確認してから、止水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けます。

注意 パッキンが付いていないと漏水します。入れ忘れに注意してください。



- ③給水・給湯ホースの先端の保護キャップを取外します。



- ④給水・給湯ホースをジョイント金具へ垂直に奥までしっかりと差込みます。

注意 ホースの湯(赤)・水(青)シールを確認して逆配管にならないように設置してください。

必ず実行 給水・給湯ホースをジョイント金具に差込むときは、オリングに傷を付けないよう垂直にゆっくり差込んでください。

必ず実行 クリップが正しい位置に取付けられないと通水時に給水・給湯ホースが抜け、漏水を起こす恐れがあります。図を参考に、確実に取付けられているか確認をしてください。

禁止 給水・給湯パイプ、給水・給湯ホースは根元から急激に曲げないでください。パイプ、ホースに傷が付き、強度が失われたり、パイプがつぶれて通水経路を狭め、十分な吐水量を得られない場合があります。

注意 給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

正しく取付いているか (Correctly installed)

曲げ半径 60ミリ以上 (Bending radius 60mm or more)

取付後の点検

- ①止水栓または元栓を開き、各部に水もれがないか確認をします。水もれが発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、水もれする箇所の施工をやり直してください。
- ②ハンドルを開き、湯水の混合具合を確認してください。低温しか出ない、または高温しか出ない場合は、別紙取扱説明書の「こんな時には…簡単な点検と対処」を参考に調節を行ってください。

ご購入店名(施工業者名)

株式会社 カクダイ GAONA 事業部

本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 『お客様相談窓口』 ☎(06)6538-1124

GAONA事業部ホームページ

<http://gaona.jp>

無断転載・複写を禁ず

GC-BF002 0917 * *